



6千円以下!  
とにかく手頃

### 完全ワイヤレスイヤホン



# Yh608

¥5,780(税込)

▶投票 No.104

SPEC ●通信方式: Bluetooth標準規格Ver.5.0 ●対応コーデック: SBC, AAC ●連続再生時間: 約4時間(充電ケース込みで約20時間) ●質量: 約5g(イヤホン本体/片側) ●付属品: イヤーチップ(S/M/L)、USB Type-C充電用ケーブル ほか

### Kineraとは? ドライバー開発技術に定評あり

BAドライバーメーカーとして、余徳権により2010年に設立される。本社は中国広東省東莞市。2013年より独自イヤホンを、2019年よりダイナミック型ドライバーユニットの開発・生産も開始している。

## 透明感のあるボーカルと相性抜群

ドライバーメーカーとしてスタートし、確かな技術力を生かし自社ブランドでのイヤホンの開発・販売にも進出してきた注目のブランド、Kinera。初の完全ワイヤレスイヤホン「Yh623」も好評を得たが、それを元に低価格化を推し進めたエントリーラインがこちらとなる。Yh623との主な違いはaptX対応の省略とバッテリー駆動時間の低減。しかし同社が得意とする6mm口径ダイナミック型ドライバーによる音づくりなど含めて他の要素はYh623とほぼ同等をキープ。「iPhoneユーザーだからaptXは不要」「イヤホンを4時間超も連続で使い続けることはない」といったユーザーにとっては、デメリット皆無でのコスパ向上といえるだろう。

サウンドは音色にも帯域にも癖の少ないオールラウンダー型。もちろん現代のサウンドにもさらっと対応してくれる。強いといえば、声や楽器の手触り感がややマイルドタッチなので、女性ボーカルの滑らかさやギターのカリントーンの艶やかさなどがポイントになる。シティポップ的なサウンドとの相性は特に良好だ。最新完全ワイヤレスイヤホンで80年代 J-POP名盤を振り下げるなんてのも面白いかも。

# 実力派アジア2ブランドが放つ 待望の完全ワイヤレス

文/高橋 敦 Acsushi Takahashi

ドライバーメーカーとして卓越した技術力を誇る「Kinera(キネラ)」と、中国ミュージシャンに愛用されるカスタムIEMブランド「Topsy(ティプシー)」。注目のアジア2ブランドから、新作完全ワイヤレスが登場。イヤホンブリークは見逃すな!

## 明るくはっきりとした快活な音

中国市場においてアーティスト向けカスタムイヤーマニターからスタートし、着実に歩を進めてきたブランドによる完全ワイヤレスイヤホン第一弾。当初は「Dancers」というモデル名で開発されていたが、最終的に振動板コーティング素材をダイヤモンドナノフィルムに、SoCをクアルコム最新チップ「QCC3040」に変更という大規模な仕様変更が決断され、それに伴いモデル名も新たなものとされたことだ。本体シェルはカスタムIEMライクに耳にフィットする形状を採用し、フェイスプレートのグラフィックデザインも華やか。ケースはやや大柄だが、代わりにケース込みの再生時間は約36時間に達する。

高域と低域を絶妙に立たせてくっきり感を確保した「バランス型快活系」的なサウンドで、どんな楽曲も明るくはっきりと描き出してくれる。空間表現も開放的なので、密室感のあるダークなクラブサウンドよりも、バツと広がる華やかなサウンドを好む方に合うだろう。またイヤータップは2形状各3サイズが付属。耳への固定力はシェル形状だけでも十分確保できるので、イヤータップは音質調整重視で選ぶのもいいかもしれない。使いこなし甲斐もありそうなモデルだ。

イヤーマニターデザインを踏襲した本格派



### 完全ワイヤレスイヤホン

# Topsy TM1

¥15,390(税込)

▶投票 No.105

SPEC ●通信方式: Bluetooth標準規格Ver.5.0 ●対応コーデック: SBC, AAC, aptX ●連続再生時間: 約6時間(充電ケース込みで約36時間) ●質量: 約5g(イヤホン本体/片側) ●付属品: イヤータップ(シリコン白: S/M/L、シリコン黒: S/M/L)、USB Type-C充電用ケーブル ほか

### Topsyとは? エンジニアらが開発に参加

音楽制作に関わる企業の一部門として2017年、中国深センで立ち上げられたカスタムIEMブランド。開発にはレコーディング・エンジニアが関わっており、音楽を聴いた時の心地よさを提供するのがモットー。